

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

事務事業名		水質検査事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050601000597
政策体系上の位置付け						単独/補助	単独		
政策体系	総合計画の施策名		0506	上水道の整備				所属課	070201
	政策名		05	快適な暮らしのまちづくり				課長名	水道課
	施策名		06	上水道の整備				グループ	水道グループ
	手段名		01	①上水道の安定供給				担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し（平成20年度～）		
							↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入		
法令根拠	水道法								

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 市民が直接飲料する水を提供しており、安心して使用できるようにするため、また、水道法においても配水水質基準を設けているため実施している。浄水場、配水場（5カ所）の水質検査委託料 ・富谷配水場 ・堤上浄・配水場 ・真壁浄水場 ・羽田配水場 ・高久浄水場					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 定期（月1回）浄水の水質検査を江東微生物研究所に委託、また、年1回原水の水質検査を実施している。				
	(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
	①手段（担当者の活動内容）		④活動指標（活動量を表す指標）		単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
	年1回原水と定期的に（月1回）浄水の水質検査を実施している。市民が直接飲料する水を提供しており、安心して使用できるようにするため、また、水道法においても配水水質基準を設けているため実施している。		定期水質検査回数		回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
原水水質検査回数			回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象（誰、何を対象にしているのか）		⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）		単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）	
水道水		年間給水量（有収水量）		千㎡	2,659.44	2,690.00	2,700.00	2,710.00	2,710.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）		⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）		単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）	
安全な水道水であることを保証し、また水道事業体自らも確認する。 ※水道法水質基準項目の検査方法及び採水方法による		水質試験検査項目数		項目	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(3) 投入量（事業費）の推移				03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）	期間限定 総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0				
		使用料・手数料	千円	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0				
		一般財源	千円	1,752	1,752	1,752				
		事業費計（A）	千円	1,752	1,752	1,752				
	量	正規職員従事人数	人	5.00人	6.00人	7.00人				
事業費の内訳	04年度事業費 実績（千円）					05年度事業費 予算（千円）				
	12 委託料	1,752				12 委託料	1,752			
		合 計	1,752				合 計	1,752		
(4) 当該年度の実施内容		05年度の事業内容			06年度の事業内容			07年度の事業内容		
※年度ごとに事業内容を記入する		年1回原水と定期的に（月1回）浄水の水質検査を実施する。			年1回原水と定期的に（月1回）浄水の水質検査を実施する。			年1回原水と定期的に（月1回）浄水の水質検査を実施する。		

事務事業名	水質検査事業	事務事業No.	50601000597	所属課	水道課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
水道法に基づき実施 年々水質基準が厳しくなっているため検査費用が増加していく。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 安心・安全な水道水を供給することで、生活環境の充実が図られている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である 水道法に規定する水質基準に適合した水道水を供給する義務がある。
有 効 性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない 水道法により定められた検査項目を定められた検査方法で検査するため
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 定期的な水質検査は、安心・安全な水道水を供給するには必要不可欠であるため。※事務事業を廃止・休止した場合、給水を辞めざるを得なくなる
効 率 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性ありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 水道法に定められた検査のため、統廃合及び連携の余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない 水道法により検査項目と検査方法が定められており、事業費の削減は望めない。また、検査結果に対する精度管理が求められており、専門知識を有する者を配置していかなければならず、人件費の削減も望めない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である 料金査定に組み込まれており、適正な受益者負担になっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	水道法に定められた水質基準を遵守し、市民の皆様が直接飲用する水を安心して使用できるように実施してきた。今後も事業を継続し、安心・安全な水道水の供給に努めていく。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ■ 継続 → ☐ 改革改善を行う → ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 □ 休止 → ■ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○																	
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ☒ ③																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄	